

令和5年度

鬼北町教育委員会
点検・評価報告書

令和6年5月

鬼北町教育委員会

事務事業評価一覧表

判定(総合評価) 5段階評価とする。

- 1 事業の運営管理ともに良好であり、極めて順調であった。
- 2 おおよそ優れた成果を挙げた、概ね順調であった。
- 3 一応の成果を挙げたが更に努力が必要である。
- 4 殆ど成果がなかった。
- 5 評価なし

評価の今後の方向性

「廃止・終了」「休止」「継続」「見直し」「拡大」のいずれかとする。

鬼北町教育委員会点検・評価委員会

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
教職員の指導力と資質の向上	教育振興会事業、教育連絡協議会事業	小中学校教職員の指導力・資質の向上及び小中高校との緊密な連携を図る。	<p>【教育振興会事業】 小中学校教職員による主任委員会及び専門部会において、自主研修を実施した。 北宇和高校馬術部の活動及び選手の強化育成や競技用具の充実を図った。</p> <p>【教育連絡協議会事業】 小中高校教職員による専門委員会において自主研修を実施した。</p>	1	継続	今後も町内教職員による主任会、専門部会及び研修会等を通じて、学校間の連携を密にすると共に、県の教育機関とも連携を図り、質の高い教育を引き続き目指していただきたい。
確かな学力の定着と体力の向上	学力向上推進事業、体育振興事業、文化振興事業、本屋へ行くプロジェクト	町教育力向上推進委員会を中核として、町内全小中学校一体となって、学力向上プランの策定、各種学力調査の分析・考察をもとにした授業改善、ICT活用教育の推進、読書活動の推進、家庭との連携を図る。また、体力アップ推進計画に基づき、児童生徒のスポーツに対する興味・関心を高め、体力の向上とスポーツへの参加意識の高揚を図る。さらに、読書に親しんだり、文化・芸術面の取組を推進したりして、豊かな心の醸成を図る。	<p>【学力向上推進事業】 児童生徒の学力向上を図るため、教育力向上推進委員会を設置し、全国学力・学習状況調査等の分析・考察等を行った。また、教育委員会指定ICT活用教育研究推進校に好藤小を指定して、研修を実施した。</p> <p>【体育振興事業】 小学校の代表児童が、愛媛県小学校陸上運動記録会へ参加した。 中学校の部活動において、愛媛県中学校総合体育大会、四国中学校総合体育大会、愛媛県中学校新人体育大会、愛媛県中学駅伝競走大会に参加した。</p> <p>【文化振興事業】 吹奏楽部において、全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会、全国吹奏楽コンクール四国支部大会、RNB音楽コンクール、全日本アンサンブルコンテスト愛媛県大会南予地区予選に参加した。</p> <p>【本屋へ行くプロジェクト】 読書への興味・関心の高揚を目指して、町内の小・中学生を対象として学校の図書室に置きたい本の選定を児童生徒自らが行う事業を実施した。</p>	1	継続	<p>教育力向上推進委員会を中心に町内学校全体で調査・研究が進められている。GIGAスクール端末を十分に活用し、わかりやすい授業に取り組んでいただきたい。</p> <p>部活動においては体育部、文化部ともに各大会で好成績を収めるなど、体力向上及び参加意識の高揚が図られた。部員数が少なくなっているが懸念される。</p> <p>本屋へ行くプロジェクトの事業により、児童生徒の読書への興味・関心が高まっており、今後も継続願いたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
豊かな人間性の形成	ふるさといきいき連携学習事業、ライフキャリア教育事業	様々な体験活動を通して、豊かな心とコミュニケーション能力の育成、自己肯定感の向上を目指すとともに、地域の産業や自然・歴史・文化の学びや、様々な人との交流を通してふるさとを愛し、誇る心の醸成を図る。	町内小・中学校と北宇和高校や地域住民が連携し、米・野菜・花の栽培等の自然体験活動、食品加工体験学習、地域の歴史や伝統文化に触れる活動、職場体験を行うキャリア教育等に取り組んだ。 【ふるさといきいき連携学習事業（各小・中学校と北宇和高校の連携学習）】 ・野菜班：①夏野菜苗定植、②夏野菜の収穫、③秋冬野菜苗定植 ・草花班：①夏花苗定植、②秋花苗定植 ・食品班：①和菓子作り、②乳酸飲料の製造、③メロンパンの製造 ・作物班：①サツマイモ苗定植、②サツマイモの収穫、③田植え体験、④稲刈り体験 ・収穫祭：高校生が調理したカレーライス試食（※新型コロナウイルス感染症の影響で会食とレクリエーションは中止。） 【ライフキャリア教育】 日吉小・中学校で実施する郷土学のほか、他の小学校では、地域住民等の協力を受けつつ、校区の歴史や伝統文化を学ぶ総合的な学習の時間を展開した。また、中学校では町内各事業所で職場体験学習を行ったほか、地域で働く青年との交流会（くるまざ♡ミーティング）や、愛媛大学学生との交流会（ドリームアップミーティング）を行い、将来への希望や展望を広げた。	1	継続	本事業の実施においては、県立北宇和高校や地域住民と連携を深めることによって、自然・歴史・文化に関心を持ち、ものを大切にする心の育成が図られている。 令和6年度より広見中学校が教育課程特例校に認可され、地域コミュニケーション科が新設されることにより、コミュニケーションスキルの向上や地域と連携した教育活動の推進に期待する。
特色ある学校づくりの推進	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）推進事業、小中一貫教育推進事業	全小中学校で、地域や保護者の学校運営への参画を図る仕組みを取り入れて、地域とともにある学校づくりを目指すとともに、日吉地区では地域性を生かし、義務教育9年間を通した指導方針により、小中学校が連携して教育の質を高める。	町内全小中学校において、地域とともにある学校を目指すため、各種事業に取り組み、地域全体で学校運営に協力すると共に、地域の教育力の向上を図った。 【コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業】 保護者や地域住民等の声を生かした、地域とともにある学校づくりを目指し、全ての小中学校が学校運営協議会制度を取り入れてコミュニティ・スクールとしての運営を行った。学校運営協議会では学校運営方針の説明・承認のほか、学校が推進する伝統文化教育や防災教育の分野等で熟議も行い、地域と学校が一体となった教育が構築されつつある。 【小中一貫教育推進事業】 教育課程特例校制度を活用し、義務教育9年間の一貫したカリキュラムによる「郷土学」を実践、また、小中学校教員相互の「乗り入れ授業」や小・中合同行事等も実践して、児童生徒の学力向上と個性・能力の伸長を図った。	1	継続	学校運営協議会の活動により、地域全体での学校づくりに努められている。 今後も家庭・地域と連携・協働し時代を担う人材の育成に期待する。 また、日吉地区での特徴のある一貫教育については郷土学を実践するなど円滑に実施されており、さらに充実した取組に期待したい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
児童・生徒 指導の徹底 と健全育成	スクールソーシャル ワーカー活用事業、 スクールカウンセ ラー活用事業、不登 校対策事業	いじめ・不登校・ 虐待などの児童生徒 に係る問題の早期発 見・早期対応・早期 解決に努め、町内の 児童生徒の健全育成 を図る。	<p>【スクールソーシャルワーカー活用事業】 好藤小・愛治小・三島小・泉小・近永小において、児童、教職員及び保護者に対する教育相談活動を実施した。</p> <p>【スクールカウンセラー活用事業】 広見中と日吉中を拠点校、町内全小学校を構成校として、児童生徒、教職員及び保護者に対する教育相談活動を実施した。</p> <p>【不登校対策事業】 不登校児童生徒への個別指導や相談を受け、宇和島市こども支援教室「わかたけ」に生徒が通い、子ども達の健全育成に努めた。</p>	1	継続	<p>スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの活用により心のケアができるなど一定の成果を挙げられた。また、教育活動支援員による地区公民館での学力保障対策など不登校生徒へのきめ細かな対応が図られたと思う。</p> <p>今後も事業を継続し、いじめのない学校づくりをお願いしたい。</p>
特別支援教 育等の推進	学校教育活動支援員 配置事業、特別支援 教育就学支援事業、 教育相談事業	障がい等を有する 児童生徒が豊かな学 校生活を送れるよう な体制づくりを行う とともに、教職員の 負担軽減を図る。	<p>【学校教育活動支援員配置事業】 障がい等を有する児童生徒が、豊かな学校生活を送れるよう教育活動支援員を配置した。（好藤小、愛治小、三島小、泉小、近永小、日吉小、広見中）</p> <p>【特別支援教育就学支援事業】 障がい等を有する児童生徒が、豊かな学校生活を送れるよう学用品等の就学援助を実施した。</p> <p>【教育相談事業】 特別な支援を必要とする子どもと保護者を対象として、養育や教育に係る相談支援を行い、就学前から中学校卒業後までを見通した途切れない支援の充実を図った。</p>	1	継続	<p>教育活動支援員を配置することにより特別な支援を必要とする児童生徒が安心して学校生活を送れるとともに、教職員の負担軽減にもつながっていると考えられる。</p> <p>今後も関係機関が連携した取組を継続されたい。</p>

令和5年度

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
社会の変化 に対応する 教育の推進	国際交流事業、人材 育成ふるさと研修事 業	異文化との交流に より、国際理解を深 め、国際社会を生き 抜く人間を育てる。	<p>【国際交流事業】 小中学校において、外国語指導助手3名による語学指導及び国際理解活動を実施した。また、毎週水曜日に一般町民を対象とした英会話教室を開催した。</p> <p>【人材育成ふるさと研修事業】 新型コロナウイルス感染症感染の場合の対応等を鑑みて、今年度の海外研修事業を中止した。</p>	3	継続	<p>外国語指導助手が3名体制で運用され、学校における語学指導が充実し、異文化との交流で国際感覚をもった児童生徒の育成が図られており、継続を希望する。</p> <p>また、海外研修事業については、ここ数年未実施であるが、コロナ感染症が5類に移行されたため、来年度は生徒たちの様々な興味関心に応えるためにも、海外研修の実施を検討されたい。</p>
学校給食を 通した食育 の推進	特別栽培米購入事 業、食育推進事業	児童生徒に安全で 美味しい地元産減農 薬米コシヒカリや農 林産物を使用した給 食を提供し、食につ いて考える機会を与 える。	<p>【特別栽培米購入事業】 学校給食に年間約6.3tの地元産減農薬米コシヒカリを使用し、米飯給食（年間121日）を提供した。</p> <p>【食育推進事業】 学校給食の調理材料に地元産の農林産物を活用した。</p> <p>【給食費負担軽減事業】 学校給食を安定的に提供し、児童生徒の保護者の負担を軽減する。</p>	1	継続	<p>地元の減農薬米や農林産物を使用した安全安心な食材の活用を通して食育を推進していくとともに、今後も子どもたちに地域を愛する気持ちを育んでももらいたい。</p> <p>給食費負担軽減事業により安全でおいしい学校給食を安定的に供給し、また児童・生徒保護者からの給食費を値上げを抑えることで経済負担も軽減されていることから、引き続き事業を継続されたい。</p>

令和5年度

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
安全・安心な学校づくり	学校施設等整備事業、通学路安全推進事業、スクールガード・リーダー活用事業	安全・安心な学校教育施設、設備や防災体制の整備充実に努める。	<p>【学校施設等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鬼北町立広見中学校改築工事（建築工事）【令和3年度～令和5年度】 ○鬼北町立広見中学校改築工事（電気設備工事）【令和3年度～令和5年度】 ○鬼北町立広見中学校改築工事（空調衛生設備工事）【令和3年度～令和5年度】 ○鬼北町立広見中学校バックネット等改修工事 ○好藤小学校高圧機器更新工事 <p>【通学路安全推進事業】</p> <p>通学路の安全に関する地域の実態を把握し、危険箇所への対応を迅速にかつ継続的に行うため、関係機関等が連携し、8月22日に通学路合同点検を実施した。</p> <p>【スクールガード・リーダー活用事業】</p> <p>スクールガード・リーダーを2名委嘱して各学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点等を指導・評価して学校安全体制の整備を図った。</p>	1	継続	<p>広見中学校の改修が完了し、今後、他の施設についても検討し、徐々に整備を図られたい。</p> <p>今後も教育活動に支障をきたさず児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう計画的な修繕をお願いしたい。</p> <p>スクールガード・リーダー活用事業では各学校の巡回を随時行うことで学校安全体制の整備が図られており、今後も事業を継続されたい。</p>
教育諸条件の整備	準要保護児童・生徒就学援助事業、過疎対策遠距離通学補助事業、自転車・ヘルメット購入補助事業、高等学校遠距離通学費補助事業、大学生等生活応援給付金事業	経済的に困窮している家庭及び遠距離通学者の円滑な就学を図る。	<p>【準要保護児童・生徒就学援助事業】</p> <p>生活保護世帯に準ずる程度に困窮している家庭を対象に、学用品費や給食費等を助成した。</p> <p>【過疎対策遠距離通学補助事業】</p> <p>通学距離が3km以上の小学生に対し、バス定期券購入費を補助した。</p> <p>【自転車・ヘルメット購入事業】</p> <p>通学距離が2km以上の新入学中学生に対し、自転車及びヘルメット購入費を補助した。</p> <p>【高等学校遠距離通学費補助事業】</p> <p>愛治地区・三島地区・日吉地区から高等学校等へ遠距離通学する生徒に対し、通学費を補助した。</p>	1	見直し	<p>すべての子どもたちが安心して学校に通学できるよう、今後も引き続き事業を継続されたい。</p> <p>現在、物価が高騰しており、自転車やヘルメット等の購入単価も高騰しているため、各家庭の負担の軽減のためにも助成金額の見直しを図られたい。</p>

令和5年度

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
人権教育の 推進	えひめいじめSTOP!デ イ	いじめの原因や、 具体例、対処法など について県下一斉の オンライン授業で意 見交換を行うこと で、お互いの個性を 尊重し、誰もが安心 して生活できるいじ めのない楽しい学校 づくりを目指す。	【えひめいじめSTOP!デイ】 愛媛県教育委員会が主催するオンラインを活用した「えひめいじめ STOP!デイ」に町内全小学校の6年生、中学校の1年生が参加し、愛媛県内 の様々な学校の児童、生徒のいじめに対する多様な考え方に触れ、ライ ブ配信授業を通じて他校と意見交換を行うことなどにより、いじめの原 因やその対処法などについて学んだ。	1	継続	来年度も事業を継続 し、いじめ撲滅に向ける 意識をもった児童・生 徒の育成をお願いした い。
心豊かで充 実した人生 を送るため の生涯学習 の推進	生涯学習社会づくり 事業	住民個々のニーズ に応える学習機会の 提供とその内容の充 実を図るとともに、 社会教育団体の活動 支援を維持する。	住民一人ひとりの個性や能力に応じて、自由に学ぶことができ、生き がいを感じる生涯学習社会を構築するため、様々な住民の学習ニーズに 応える学習機会を提供するとともに、地域社会の連携を図る婦人会、青 年団及び日吉一希を起こす会並びに青少年の健全育成のため、活動の充 実を図るPTA及び愛護班に対し予算補助を実施し、活動を支援した。 PTA連合会では、コロナウィルス感染症の位置付けが5類になったこと により、コロナ前に行っていた行事を再開することができ、単位PTA同士 の交流が図られた。また、愛護班では昨年度に引き続き「わんぱくたち のクリスマス会」と題し、全小学校に参加の募集を行い、クリスマス リースの製作・展示を実施、子どもたちに素敵なクリスマスイベントを 提供できた。婦人会及び青年団では、コロナ禍で自粛していた活動を再 開し、各公民館と連携を図り青少年の健全育成や地域活性化の活動を 行った。	1	継続	コロナ禍により地域活 動が制限されたことによ り希薄となりつつある地 域との繋がりを取り戻し ていただきたい。 青年団活動は活性化さ れているが、役場の職員 が多いように思われるの で、地域の若い人材を取 り入れられたい。 他の社会教育団体の新 規加入者も伸び悩んでお り今後の活動も厳しい状 況にあるが、充実した活 動ができるよう継続支援 をお願いしたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	でちこんか事業（夏の陣：【四万十・源流広見川】川上り駅伝）	日本一の清流・四万十川の支流である広見川でイベントを開催し、清流の町をアピールすることにより、自然に親しみを持ち、ひいては自然を守る心を養い、心豊かなふるさとづくりを推進する。	8月11日開催予定としていた大会は、台風の影響により8月20日に延期、延期後も荒天が続き、開催の有無について実行委員から徴取した意見を踏まえ、実行委員長と協議を行った結果、町民、参加者及び来訪者等の安全を最優先に考慮し、開催を中止した。 ※令和2年度より4年連続中止。	4	継続	本年度は荒天によりイベントが実施できず、大変残念であった。町を代表するイベントとして今後も継続をしていただきたい。 事業への活力が薄れているように感じているため、地域の協力を図りたい。
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	でちこんか事業（秋の陣）	生涯学習の視点に立って、それぞれの人々がいつでもどこでも積極的に学習に参加し、心豊かで充実した人生を送ることができる生涯学習社会の創造に努める。あわせて、鬼北町のアピールと町民が自分の町に誇りが持てるような地域づくりを進める。	コロナ禍の影響により、3年間（R2～R4）の中止を余儀なくされた「でちこんか」だが、今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、4年振りに開催することができた。 10月14日（土）の「前夜祭～邦楽ライブin鬼北」では、8年振りに会場を奈良川河川敷に移し、「太鼓集団魁」をはじめ、ゲストに「太鼓集団天邪鬼」（東京都）、和楽器奏者「M-cocktail」（松山市）のほか、演歌歌手の「香西かおり」氏を迎え、盛大に開催することができた。8年振りの河川敷での開催、また雨天という状況での開催ではあったが、来場者も非常に多く、来場者及び出演団体からは、肯定的な意見がほとんどであった。 10月15日（日）の「でちこんか2023」では、保育所園児によるオープニングダンスを皮切りに、地元団体の各種ステージショー、ジャンボキジ鍋、びっくり市、魚のつかみ取りなど、様々な催しを行った。また、ゲストに「愛媛プロレス」やお笑い芸人「たくろう」、歌手の「サンブラザ中野くん、パッパラー河合」氏を迎え、会場内は大勢の人で賑わった。 今回は、駐車場として利用していたアルコール工場跡地が、保育所新設工事の残土の影響により使用できず、駐車場不足が心配されたが、急遽整地を行い碎石を敷いたことで前回以上の駐車場を確保することができた。また、4年振りの開催ということで「でちこんか」の経験のないスタッフが多数いることから、マニュアルを作成しスタッフ説明会を行うなど入念な準備に努めた。 【来場数】 前夜祭・・・約5,000人 当日・・・約20,000人 合計約25,000人	1	継続	4年ぶりに開催した「でちこんか」には多くの方が来場し大変盛り上がった。来年度も魅力あるイベントとなるようお願いしたい。なお、雉鍋のかまどが橋の近くに設置されており、橋の上から物を投げ込まれる危険性があるため、対策などについて検討されたい 年度末に実施した「みにこんか」も非常に評判も良く、来年度も継続されたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	公民館活動推進事業	公民館を中心に、町民の学習・スポーツ活動への意欲を喚起する最新情報の収集、活動ニーズの把握、新たなメニューの開発、質の高い芸術・文化に触れる機会の創出など年代や地域に応じた多様な活動プログラムを提供するほか、自主的な学習活動の活性化、各協会など町民活動組織への支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館図書室では、毎月ケーブルテレビの「中央公民館図書室だより」への出演を引き続き行ったり、町のホームページにて新着本の紹介を行ったりしたほか、読書週間等に合わせた企画イベントを実施し、子どもの読書推進や図書室利用啓発を行った。また、今年度は3年ぶりに図書室にてクリスマスおはなし会を開催し、保育所・小学校を対象に募集をし、クリスマスにちなんだ本の読み聞かせをした。ブックスタート事業は3～4か月児検診に合わせた絵本の配布を行い、子育て支援に努めた。 ・中央公民館と地区公民館において地域の特色を活かした伝統文化や歴史に学びながら、豊かな人間性を自ら育む生涯学習環境の向上に努めた。 ・1月3日に二十歳のつどいを実施した。太鼓集団魁による演奏や担任教諭のビデオメッセージを作成して式典の中で披露し、社会人としての郷土愛の醸成に努めた。 ・体育祭事業、夏祭り事業については、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行後、各地区公民館で実施することができた。一方、感染した場合の責任等について協議が行われ開催ができなかった公民館もあった。 ・各種講座、教室においても地域住民のニーズに応えた事業を展開した。また、子育て支援の一環として、「放課後子ども総合対策事業」に取り組み、小学生の放課後の居場所確保として実施した。 ・花いっぱい運動では、各公民館が地域団体と協力し、年間を通して管理に努めた。苗は、北宇和高校の生徒たちが育てたものを購入している。今年度は、ポーチュラカ、ビオラを購入した。（年2回配布） ・公民館施設整備：中央・好藤・日吉公民館エアコン取付工事、公民館消火器取替業務、町民会館トイレ整備工事。快適な環境づくり、住民が安心して活動できる公民館の施設整備に努めた。 	1	継続	<p>中央公民館図書室については、各種イベントを実施することで、利用者が読書に興味を持てるように配慮した活動ができている。</p> <p>公民館事業では、コロナ禍で中止や延期になっていた事業を実施し、地域と学校が一体となった取組ができている。各公民館の連絡協議会の活動を図り、更なる連携を図りたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
学校・家庭・地域の 連携推進	学校・家庭・地域連 携推進事業	幅広い地域住民の 参画を得て、地域全 体で子供たちの学び や成長を支えるとと もに、学校を核とし た地域づくりを目指 す。また、放課後に 子供たちの安全・安 心な活動拠点を設 け、地域住民と交流 活動に取り組むこと で、心豊かで健やか に育まれる環境づく りを推進する。	<p>平成28年度から町内すべての小中学校に地域学校協働本部を設置、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域ボランティアの協力を得て、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するとともに、この活動を推進する「地域学校協働本部」への支援に努めている。また、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動等、地域住民との交流活動に取り組む「放課後子ども教室」を、日吉地区（平成28年度～）、泉地区（平成29年度～）、好藤地区（平成30年度～）の3地区で実施し、放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりを推進している。</p> <p>放課後子ども教室については、運営体制の改善及びサポーターや教職員等の負担軽減を図るため、公民館長等が兼務していたコーディネーター業務を廃止し、新たに学校に常勤勤務のコーディネーターを配置した。</p> <p>【地域学校協働本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア年間延べ活動人数：17,569人（見込み） <p>【放課後子ども教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施教室：日吉地区、泉地区、好藤地区 ・登録児童66人（日吉地区25人、泉地区18人、好藤地区23人） ・教育活動サポーター数 62人（日吉地区25人、泉地区20人、好藤地区17人） 	1	継続	ボランティアの確保が 難しい状況だと聞いているが、多くのボランティアの協力により、放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりが確保できていると思われる。 今後も継続支援をしていただきたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
人権学習及び啓発活動の推進	人権教育推進事業	国の法律に基づく、正しい人権意識とお互いを尊重する心を育む学習を通して、あらゆる差別や不合理な社会矛盾の解消に努め、一人ひとりが個性と能力を發揮することのできる社会の実現を目指す。	<p>あらゆる差別の解消を目指し、学校や地域における人権教育を中心に、町全体で命の大切さ、人権意識の高揚に努めた。また、いじめや差別をなくする意識啓発により、差別のない心豊かなまちづくりの推進に努めた。</p> <p>【子どもたちのための人権集会】 月日：11月28日 講師：嵯峨根望氏（シッティングバレーボール選手） 対象：町内中学生及び一般 計 約210人 シッティングバレーボール選手として活躍されている嵯峨根望氏をお招きし、町内中学生を主な対象に「僕の宝物」と題し講演を行った。生まれつき体に障がいを持って生まれ、中学生時代に友達とのある出来事をきっかけに障がいを受容することになった。講師が障がいを受容した時期と同年代の中学生を対象に、挑戦することの素晴らしさや、障がい者への正しい理解、人権問題について改めて考える場となった。</p> <p>【人権を考える集い】 月日：2月10日 講師：仲岡しゅん氏（弁護士） 対象：PTA会員及び一般 計 約100人 弁護士の仲岡しゅん氏をお招きし、PTA会員及び一般を対象に「性的マイノリティってなに？～楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ～」と題し講演会を行った。LGBTとは何を指すのかを説明し、自身の経験談を基に講話をして頂いた。人には個性や違いがあるなどことが当然で、それを否定したり拒否するのではなく、そういった考えや思いを持つ人もいる人がいることが自然であるという認識を持つことが大切であると話され、参加者はメモを取るなど耳を傾けていた。</p>	1	継続	<p>いずれの講演会も非常に有意義であり評判も良かったと聞いている。</p> <p>来年度も継続して事業を実施し、差別のない心豊かなまちづくりの推進につとめてほしい。</p>
人権学習及び啓発活動の推進	シトラスリボン運動推進事業	シトラスリボン運動を展開することで、差別偏見なく、暮らしの中で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちづくりに繋げる。	<p>コロナ禍で生まれた差別や偏見を無くすため、愛媛県発祥の「シトラスリボン運動」に賛同、学校や地域におけるいじめや差別をなくする意識啓発により、差別のない心豊かなまちづくりの推進に努めた。</p> <p>【シトラスリボン運動】 町ホームページや公民館報にシトラスリボン運動の記事掲載及び町内各施設にポスターを掲示し、啓発を行っていたが、令和5年の5月から感染症の位置付けが5類に下がった。</p>	1	継続	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、昨年まで程の熱量は感じなかったが、コロナ禍で生まれた差別や偏見などの解消に向け今後も支援を継続されたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化団体育成事業	地域に根ざした伝統文化や、新しい町民文化を創造し、ふるさとの心をはぐくむ文化風土の形成に寄与するため、文化協会の運営及び活動を展開する。	<p>地域における芸術文化活動の核となる、芸術文化団体及び後継者を育成し、芸術文化活動の発展を図る一方、芸術鑑賞の機会の拡充を図った。会報紙を年に2回発行し、各団体の活動内容を町内に発信している。鬼北文楽や富母里神楽保存会などの郷土芸能等保存部門については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後、生花展とともに今年度はお茶会を開催することができた。県展移動展も広見体育センターにて開催し、町内外を問わず、芸術作品鑑賞の場を提供することができた。また、きほく作品展を開催し、近隣住民に対して会員や保育所、小中高等学校生、老人クラブ、婦人会等の日頃の成果を発表することができた。きほく芸能まつりについては、今年度は悪天候のため中止となった。</p> <p>・きほく作品展の作品数359点、来場者数約601人 ・県展移動展鬼北会場来場者数約210人</p> <p>・きほく生花展、お茶会・鬼北山野草会による展示会（秋の山野草展、新年を飾る山野草展）</p> <p>・年2回の会報紙発行（9月：3,500部、3月：3,500部）</p> <p>【地域おこし協力隊による泉貨紙製造技術の継承等】</p> <p>令和2年度より泉貨紙製造技術の継承のため活動している地域おこし協力隊が紙漉き技術習得や泉貨紙を活用した商品開発のために日々奮闘している。他の市町の協力隊員との交流やSNSを通して泉貨紙の魅力を町外に発信したり、地域のイベントにも積極的に参加し、地域活性化にも協力した。さらに、モノの魅せ方や商品開発の向上のために県外視察も行った。今年度は、宇和島市の井上真珠店と共に、泉貨紙と真珠を一体化したコラボ商品「楮」を商材開発し、愛媛新聞にとりあげられるなど、泉貨紙の認知普及に努めた。</p>	1	継続	<p>各団体とも、会員の高齢化により後継者不足の問題が生じており、記録に残して次の世代に引き継ぐ必要がある。貴重な伝統文化を保存・継承を続けて頂きたい。</p> <p>様々な商品開発を行い町内外へ発信するなど泉貨紙の認知が高まったと思われる。</p> <p>今後の新たな事業展開に期待している。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化・文化財活用事業	町内の文化・文化財や文化施設を活用した講演会・シンポジウム・企画展・各種イベントなど、文化財保護啓発活動を実施し、地域活性化を推進する。	<p>令和6年度の奈良山等妙寺史跡公園及び歴史交流館オープンに向け、史跡等妙寺サポーターの募集・養成を目的としたミーティングを全5回（8・9・10・11・3月）開催し、延べ70名が参加した。等妙寺旧境内や関連文化財のほか、利用者・見学者へのサポートやホスピタリティ（おもてなし）を行うという史跡サポーターの基本的な在り方や心構えについても理解を深めることができた。</p> <p>また史跡公園オープンに向け、現地の遺構保護と見学者の利便性向上を目的とした道づくり体験・見学会を開催した（1月18・19、2・3月）。利用者が安心・安全に史跡見学できるよう汗を流して作業を行うことで達成感が得られ、参加者同士の親睦も深まった。当日は近永地区婦人会のご協力により、おやつも用意いただき大変好評であった。史跡公園や歴史交流館の利活用推進にも繋がるため、体験内容を検討しながら今後も企画したい。</p> <p>史跡の効果的な普及啓発のため昨年度に引き続き、著名な歴史考証イラストレーターである香川元太郎氏に委託し、等妙寺旧境内復元イラストを3カット制作した。各種刊行物や展示、看板等でも使用する。</p> <p>興野々寺山遺跡関係では、竪穴住居復元プロジェクトを昨年度に引き続き実施し、体験学習型の史跡活用・整備を実践した（2月）。</p> <p>日吉明星ヶ丘では、4年振りとなる「鬼の里の夜神楽・ひよし星降るキャンドルナイト」を開催し、富母里神楽保存会（鬼北町）、立川神楽保存会（内子町）、津野山神楽保存会（梶原町）が集結、県内外から多数の観客が訪れた。</p>	1	継続	4年ぶりに「ひよし星降るキャンドルナイト」を開催するなど等妙寺旧境内、寺山遺跡等を活用したイベントの実施などにより文化財活用が図られており、今後の更なる事業継続を期待している。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化財保護事業	鬼北町内の指定文化財を中心に、維持管理を行い、その保護を図る。また、町内の文化・文化財を地域資源として積極的な活用を図り、文化財保護意識の高揚と周知を図る。	<p>○文化財保護委員会を開催し、文化財事業の進捗状況や町内文化財の維持管理、町指定文化財の新規指定等について検討・審議を実施した。</p> <p>○指定文化財をはじめとする町内文化財について、必要に応じて補助金を活用するなど円滑な保存修理や維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良天満神社社叢 景観環境整備事業（鬼北町文化財維持管理費補助金） ・上川八幡神社 屋根修理工事（鬼北町文化財保存伝承事業費補助金） ・宝樹寺観音堂 屋根修理工事（鬼北町文化財保存伝承事業費補助金） <p>○今年度所在が明らかとなった上鍵山日吉神社棟札について、土居聡朋氏（愛媛県美術館学芸課長・文献史学）を招へいし調査を実施したところ、町内でも最古級の中世期に遡る資料を含むことが判明したため、今後町指定文化財新規指定を進めていく予定である。</p> <p>○文化財防火デー（1月26日）に合わせた防火訓練を国指定重要文化財「善光寺薬師堂」にて実施した。訓練を通じて文化財所有者、地域住民、地元消防団員の協力体制を再確認するとともに文化財保護と防火意識の向上を図ることができた。</p>	1	継続	貴重な地域の文化財産を守るため、引き続き調査を続けるとともに、文化財の価値や評価を広く公開・活用できるよう取組を進めていただきたい。
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	町内遺跡発掘調査事業	地域の歴史や伝統文化を伝える遺跡等の町内の埋蔵文化財について調査を行い、町内の遺跡を把握することで、開発行為等による遺跡の消滅を防ぐとともに、開発と文化財保護が円滑に進むよう調整する。また、各遺跡の調査を進める中で、遺跡から情報を引き出し、その歴史的価値を明らかにし、地域への還元のための活用を推進する。	<p>等妙寺旧境内では、等妙寺旧境内調査・整備検討委員会の指導のもと、令和元（2019）～4年（2022）度を実施した平坦部A-2（観音堂跡）、平坦部A-1（山王跡）の面的調査出土遺物の整理作業等、令和7年（2025）度の発掘調査報告書刊行に向けた作業を進めた。</p> <p>町内重要遺跡では、令和8年（2026）度の発掘調査報告書刊行に向けての遺物整理作業として、興野々寺山遺跡出土石器の実測・トレースを委託により実施した。</p> <p>町内遺跡詳細分布調査では、等妙寺旧境内に関連して奈良山霊場遺跡を対象に実施し、有識者の指導のもと遺跡の把握、記録に努めた。調査成果は令和6年（2024）度に報告書として刊行予定である。また、埋蔵文化財包蔵地の照会にかかる現地確認のほか、町内山城についても現地踏査による現状把握及びデータの更新を行った。</p>	1	継続	これまで継続して行ってきた史跡等妙寺旧境内の発掘調査については、よく事業を実施している。今後も委員会の指導の下、イベントの実施や成果報告等を行いながら、事業を進めていただきたい。また、町内に存する埋蔵文化財包蔵地の調査についても、詳細の把握に引き続き努められたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	史跡等妙寺旧境内保存整備事業	国史跡等妙寺旧境内の恒久的な継承と利活用を目的に、等妙寺旧境内調査・整備検討委員会の指導のもと、保存管理計画・史跡保存整備構想・史跡保存整備基本計画に基づき、史跡地内の環境整備及び遺構の保存整備を推進する。	令和5年度の文化庁の国宝・重要文化財等整備・活用補助金の採択により、実施した事業は、映像制作業務(2)、史跡案内サイン制作設置委託業務、平担部A保存整備工事及び設計監理委託業務である。映像制作業務(2)は、昨年度に引き続き、施設にて上映する史跡案内映像の制作を実施し、授戒道場解説動画や短編動画3本を制作した。史跡案内サイン制作設置委託業務では、史跡公園内の道標や解説板を周遊コースに合わせて設置した。平担部A保存整備工事では、旧等妙寺の中心であった如意頭院跡(平担部A)の保存整備工事を実施し、発掘調査で見つかった本堂跡や本坊跡を平面及び半立体で表示し、往時の様子を現地で体感できるよう整備を行った。令和4年度繰越で行っていた史跡ガイダンス施設建設工事(展示工事)については11月末に完了し、12月に工事を無事完了した。等妙寺旧境内調査・整備検討委員会を6月、2月に開催し、第1期整備の総括について進めるとともに、令和6年度の史跡公園オープンに向けて検討を進めた。 このほか、ガイダンス施設の備品購入や伝送路工事、警備システム設置、道路案内板の制作設置委託業務等を実施し、次年度のオープンに向けて準備を整えた。12月には、奈良山等妙寺史跡公園設置条例が可決され、ガイダンス施設名称は「奈良山等妙寺歴史交流館」となった。	1	継続	史跡ガイダンス施設が完成し、町内外からの新たな集客に期待する。 今後も史跡公園の整備を図り、町民が気軽に訪れられる場所となり、活用できるよう事業継続していただきたい。
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	井谷家住宅保存整備事業	国登録有形文化財「井谷家住宅」の保存継承を目的に、保存活用計画を検討し、建物の保存修理及び整備・活用を推進する。景観計画の歴史景観地区に指定されている下鍵山幸田地区のまち並みを含めた活用を図ることで、明星が丘施設群・井谷家住宅を文化交流・観光の拠点として、整備・活用を推進することで地域活性化を図る。	国登録有形文化財「井谷家住宅」の保存継承を目的に、保存活用計画を検討し、建物の保存修理及び活用整備を推進する。 井谷家住宅保存活用計画作成のため、8月・9月に防災計画の関係で調査を行い、図面を作製した。また、12月から1月にかけて保存活用計画原案を作成し、2月～3月に文化庁調査官の実査指導、検討委員会において協議を行い、保存活用計画を策定した。	3	拡大	貴重な地域の文化財産を守るため、引き続き調査を続けるとともに、文化財の価値や評価を広く公開・活用できるよう取組を進めていただきたい。 雨漏り等が発生している井谷家住宅については、早急な改修の必要があるが、改修の際には雨漏り箇所が崩落しないよう施工に留意いただきたい。

令和5年度

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化財保存活用地域計画作成事業	第2次鬼北町長期総合計画（平成28年度策定）後期基本計画（令和2年度策定、令和3-7年度第2期総合戦略）を踏まえ、地域の文化財及びその周辺を総合的に保存・活用等を図るとともに、地域の文化財の防災・防犯体制、防災方針等を確立するため、3か年計画で鬼北町文化財保存活用地域計画を作成する。（文化庁認定申請令和7年12月予定）	第2次鬼北町長期総合計画（平成28年度策定、令和3-7年度第2期総合戦略）を踏まえ、地域の文化財及びその周辺を総合的に保存・活用等を図るとともに、地域の文化財の防災・防犯体制、防災方針等を確立するため、3か年計画で鬼北町文化財保存活用地域計画を作成する。（文化庁認定申請令和7年12月予定） 令和5年度は、事前把握として文化財・自然的・地理的環境、歴史的環境、社会的環境等の町の概要について整理を進めた。各地区の歴史的建造物（寺社建築、旧庄屋屋敷、茅葺民家など）の実態調査と基礎的データの収集・把握を進め、日吉地区、近永地区の近代建築について調査した。また、京都美術工芸大学建築学科大上直樹研究室の協力で、日吉地区の神社建築（本殿・拝殿・石造物など）について網羅的に調査を行った。併せて、各神社総代からの聞き取り調査も行った。6月には愛治地区でヒアリングを行い、2～3月に各地区ヒアリングを実施した。また、3月に協議会を開催し、文化財保護委員会においても意見交換した。	1	継続	地域の文化財の保存・活用を進めるための計画作成ということで、大切な事業。3か年の事業で文化庁の認定を目指して引き続きしっかりと進めていきたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
町民総参加のスポーツ・レクリエーション活動の推進	生涯スポーツ振興事業	健康の保持増進、体力の向上を図り、快適な生活を営むため、健康教育の推進と町民総参加のスポーツ・レクリエーションの推進を図ると共に、総合型地域スポーツクラブの充実に努め、町民の積極的参加を促す。	<p>【スポーツ協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の充実を図るため、指導及び助言を行い、団体育成補助金を交付した。 ・ナイターソフトボール大会の開催と運営をソフトボール協会と共同で行い、今年度は最後まで大会を開催及び運営することができた。（13チーム参加） <p>【スポーツ少年団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の充実を図るため、指導及び助言を行い、団体育成補助金を交付した。 ・鬼北ジュニアへ大会参加に係る補助金を交付した。 ・各団体とも様々な大会に参加し、日ごろの練習の成果を発揮された。 <p>【総合型スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の開催と運営は、鬼北町スポーツ協会に委託し、火・木は昼に、金・日は夜に実施、年間120回以上開催している。 ・活動種目は、レクバレー、卓球、バドミントン、ラケットテニス、陸上。 <p>【鬼街道駅伝競走大会及びマラソン大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第17回鬼街道駅伝競走大会及びマラソン大会が12月17日に開催された。駅伝の部21チーム、マラソンの部91人の参加があった。4年ぶりではあったが、駅伝大会新記録や各区間で区間新記録が更新されるなどの盛り上がりを見せた。 	1	継続	4年ぶりに鬼街道駅伝競走大会が開催されるなど、コロナ禍で中止となった大会が徐々に再開し、町民の健康の保持増進の一助となったと思われる。鬼街道駅伝競走大会では参加チームが少なかったように思われるので、町民が積極的に参加されるよう周知を図られたい。
町民総参加のスポーツ・レクリエーション活動の推進	体育施設整備事業	施設設備を改修し、学習・スポーツ環境の向上を図り、総合型地域スポーツクラブを中心とした幅広い分野の交流による学習・スポーツ活動の活性化に努める。	<p>【町内社会体育施設の修繕の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業者トレーニングセンター ステージ蛍光灯交換、体育館ハロゲンランプ取替業務、網戸交換 ・町内グラウンド（6施設）夜間照明点検業務 ・好藤小学校夜間照明修繕、伐採 ・近永小第2グラウンド、三島グラウンド、日吉農村広場の清掃管理委託事業による環境整備の実施 ・三島グラウンド夜間照明改修（LED化） 	1	継続	三島グラウンド夜間照明がLED照明に改修されるなど、各社会体育施設の修繕が図られているが、体育館の電球が切れている箇所があるなど不便を生じている施設も見受けられるため、LED化とあわせて適宜修繕をお願いしたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
町民総参加のスポーツ・レクリエーション活動の推進	B & G 海洋センター運営事業	海洋性スポーツを軸とした実践活動を通して、海事思想の普及を図るとともに、その人間性と体力向上を図ることを目的とする。	<p>本年度は、5月10日～9月15日までの営業とした。（新型コロナウイルスの基準が下がるのが5月10日だったため今年度は10日からの開館とした。）</p> <p>海洋クラブ活動については、積極的に県の交流会や事業に参加することができた。昨年度実施できなかった愛南町との交流会も行うことができ、交流を深めることができた。また、おたまじゃくし水泳教室や水中運動教室、好藤、三島の小学校児童にカヌー教室も実施することができ指導能力を高めることができた。水辺の安全教室も実施し、海レクの楽しさだったり、水の怖さを実感してもらいその中でどういった対処をしていくかなどの知識を教えることができた。</p> <p>また、今年度は「特A」評価を10年連続で獲得したためB&G財団本部から表彰を受けた。</p> <p>【B&G海洋センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金 232,820円（前年比11%増） ・利用者人数 2,999人（内訳：大人926人、大人障がい11人、小人1,579人、小人障がい37人、幼児175人、見学271人） ・おたまじゃくし教室7回開催（22人）、水中運動教室5回開催（40人） <p>【海洋クラブ】（会員16人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋性スポーツ実技（カヌー、ロープワーク） ・県内の後期交流会（スキー研修）に参加 ・水辺の安全教室（紙芝居、だるま浮き） ・愛南町との交流会・カヌー教室 <p>【海洋センター修繕状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワーバルブ修繕 ・ガスメーター取替工事 ・浄化槽ブロワー交換 	1	継続	<p>B&G財団の評価を10年連続「特A」で受けたことは適切な施設管理及び多種多様な活動が行われていると思われる。引き続き利用者拡大に努めていただきたい。</p> <p>施設の老朽化が激しいため、新しいプールの整備なども含め今後検討していただきたい。</p>
鬼北総合公園の利用促進	鬼北総合公園の利用促進事業	町民をはじめ、圏域住民の憩いの場、スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、鬼北総合公園の利用促進を図るとともに、指定管理者と連携し、なお一層の施設設備の充実に努める。	<p>鬼北総合公園は、地域の交流を図り、スポーツ・レクリエーション及び自然と触れ合う憩いの場を整備し、子供から高齢者までの全年齢が気軽に利用できる公園づくりを目的として、平成元年に事業認可を受け、平成16年4月、現在の公園面積13.8haが供用開始となった。</p> <p>平成31年4月1日、所管が宇和島地区広域事務組合から鬼北町へ移管、鬼北町スポーツ協会が施設管理を行い、より地域に根差した都市公園を目指している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により一時施設を閉館していた時期もあったが、令和5年5月から感染症の位置付けが5類に移行されたことに伴い、アリーナや体育館等使用者が増えてきた。令和5年度はリフレッシュ広場に遊具を2基設置（もくもくトリデ、プレイポートワンダー）、ニュースポーツコートの人芝の張替を行った。これにより、更なる公園の利用促進に繋がった。</p>	1	継続	<p>新しい遊具が整備され、休日に鬼北総合公園を訪れる方が増加した。</p> <p>体育館や公園施設も老朽化が進んでいるため、更なる公園整備を図り利用促進を図りたい。</p>